

アーツ前橋展覧会

横浜美術館コレクション 昭和の肖像—写真でたどる「昭和」の人と歴史

前橋はかつて生糸産業で発展しました。生糸は横浜港を通じて海外へ出荷され、前橋と横浜を繋ぐ絹の道が日本の近代化を支えたといっても過言ではありません。

本展では、横浜美術館の豊富な写真コレクションの中から「昭和」という時代にフォーカスした 335 点の作品を一挙公開します。昭和を生きた著名人たちのポートレート、さらには昭和という時代そのものを映し出した風景・風俗写真を通して、今日の日本の社会構造と生活環境の基礎を形づくった「激動の時代」を振り返ります。

1 会 期

平成 30 年 7 月 6 日（金）～9 月 3 日（月） 水曜休館
開館時間：午前 11 時～午後 7 時（入場は午後 6 時 30 分まで）

2 場 所

アーツ前橋（千代田町五丁目 1 - 16）

3 観覧料

一般：500 円 | 学生・65 歳以上・10 名以上の団体：300 円 | 高校生以下：無料

※ 障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は観覧無料

※ 「夏休みキッズフェスタ 2018」開催 8 月 18 日（土）と「ワールドフォトグラフィデー」の 8 月 19 日（日）は観覧無料

※ 本展会期中割引…以下の条件でご来場の方は、観覧料 300 円

- ① トワイライト割（開館中の午後 5 時以降にご来場された方）
- ② 猛暑割：最高気温 35 度以上の日にご来場された方
- ③ 家族割：中学生以下のお子様をお連れの保護者の方

4 特別協力

横浜美術館

5 展示作家（全 30 作家）

秋山庄太郎、荒木経惟、安藤不二夫、石内都、石川真生、奥村泰宏、金村修、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、木村伊兵衛、ロバート・キャパ、桑原甲子雄、渋谷龍吉、須田一政、土田ヒロミ、常盤とよ子、土門拳、中川一夫、中平卓馬、浜口タカシ、濱谷浩、林忠彦、原田正路、福田勝治、福原路草、藤本四八、堀不佐夫、緑川洋一、森村泰昌、師岡宏次、八木治

6 関連イベント

- (1) レクチャー「戦時下の写真家たち」
講師：倉石信乃（明治大学教授・写真史）
日時：7 月 28 日（土）午後 2 時～4 時
- (2) 対談「石内都（本展出品作家×小泉明郎（アーティスト）」
日時：8 月 11 日（土・祝）午後 2 時～3 時 30 分
- (3) 学芸員によるギャラリートツアー
日時：7 月 22 日（日）・8 月 18 日（土）、午後 2 時～2 時 30 分
- (4) ロビーライブ vol.17 「ジャズ」
日時：8 月 19 日（日）①午後 1 時 ②午後 2 時 30 分

○ 前橋写真月間 2018

本展の協力企画として、街なかの他の場所でも期間中に写真展やイベントが開催されます。

日時：7月5日（木）～8日（日）、14日（土）～16日（月・祝）、21日（土）、
22日（日）、28日（土）、29日（日）、正午～午後7時

会場：（1）Maebashi Works（千代田町二丁目7-17）
（2）map 前橋“市民”ギャラリー（千代田町二丁目12-7）
（3）mbf アートスペース（旧前橋文化研究所）（本町二丁目18-8）

参加作家：滝沢 広／多和田有希、三田健志、荻原林太郎

主催：前橋写真月間

問い合わせ：maebashiphoto2018@gmail.com

7 プレスプレビュー

日時＝7月5日（木）午後2時～午後7時（最終入場は午後6時30分まで）

当日午後2時30分から、参加作家立会いのもと、横浜美術館とアーツ前橋担当学芸員による作品解説を実施します。

担 当 文化国際課 アーツ前橋
電 話 027-230-1144
内 線 89-201